

生徒指導研修会を振り返って

先日、前沢総合支所、前沢ふれあいセンター、前沢地区センターの3箇所で開催されました。先生方からは、たくさんの講義から選択して受講でき、必要なものを研修できたので、教師としての力量を高めることができたという感想が多く出されました。また、各学校に伝講したいという先生方も多数いました。先生方の、生き生きとした研修姿勢が印象的でした。児童生徒の好ましい人間関係づくりや学校不登校の未然防止などの生徒指導の充実と指導力の向上に、生徒指導研修会は大いに有効でした。



講義A 生徒指導主事の役割について

生徒指導主事の職務内容を中心に、生徒指導主事の役割を研修しました。積極的な生徒指導の継続をお願いします。生徒指導は、実態把握をし、報告・連絡・相談、コミュニケーションをとり、合意形成して指導のぶれを防ぐことが大切です。

講義D 通常学級で指導が困難な児童生徒

の理解と学級での人間関係づくりについて

困り感のある児童生徒へは、「個別的な支援(具体的に教えていく)」が必要であるという講義でした。所属する学級集団において、学級の規律が確立されていない場合、適応がよくありません。学級づくりにおいては、それぞれの個性を受け入れる雰囲気作りが必要です。

講義B 人間関係づくりレクリエーション

プロジェクトアドベンチャー(PA)を実践しました。PAの基本は、目標の設定→体験→振り返り→一般化して実生活に生かすという体験学習サイクルで組み立てられています。楽しみながら、緊張をほぐしたり、相手との壁を取り除いたり、信頼関係を築く活動をしました。学校、学級ですぐにでも取り組める内容でした。

講義E 子どもの見取りとその対応の在り方について

臨床心理士であり、スクールカウンセラー門屋先生による講義と演習でした。内観的思考の獲得により、相手の立場に立つということの意味をじっくりと考える研修でした。自分の物の見方、考え方の視点を変えることで、世界が変わって見えてきます。

講義C 学級づくりについて

好ましい人間関係を築くために、どのような場の設定や支援が必要なのか、講義や演習を通して学びました。児童生徒が、「私達は大切にされている」と実感し、児童生徒や学級の「いいところの見える化」で、良い思いを学級全体で共有することが大切です。

講義F 学校と家庭との連携の在り方について

母子相談員兼子育て支援員であり、スクールカウンセラーの蓑輪先生による講義と演習でした。家庭教育がおかれている現状、保護者の状況や心理、家庭との連携のポイント、カウンセリング技法等を研修しました。「児童生徒の親は大切なパートナーです。」